

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	4×4 = 16 & Co.		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・楽しく過ごす中で、個々の特性等に合わせた支援を行い就学に向けて生活面や学習面の基礎を育む支援を行っている	・子どもの気持ちを大切に表現できるよう、得意な事を中心に、興味を持って取り組めるよう支援を行っている ・静の活動と動の活動を組み合わせて行えるよう、個別支援と集団支援を行っている	・保護者や関係機関と情報共有をより丁寧に行う事で、支援の充実に繋げていく支援を行う
2	・保護者の気持ちや思いに寄り添っていけるよう、家族支援にも努めている	・連絡ノートやLINEでのやり取りを中心に、送迎時にも丁寧に伝え、状況理解が深まるように努めている ・また、必要に応じて面談を行っている	・子どもの様子だけでなく、保護者の気持ちや様子も気に掛け気になる事などがあれば相談しやすい関係を築いていけるよう努める
3	・季節を意識した療育を行っている	・長期休みなどには、毎日イベントに取り組む支援を行っている ・保育士や児童指導員を中心に、季節を意識したイベントを考案し、取り組む支援を行っている	・事前にイベントの企画を十分にし、準備をすることで一人一人が充実して過ごせるよう支援を行う

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域の保育所・幼稚園・小学校との交流	・個人情報の取り扱いなどから、全ての保護者からの承諾がないと参加できない	・保護者の承諾の元、地域の公園や図書館などに参加し、交流を図る
2	・事故防止マニュアル・緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル・感染症対応マニュアル等の保護者への周知・説明	・各種マニュアルの策定・運用は出来ているが、保護者への周知・説明が十分でなかった	・入所時や契約時に、より丁寧に説明し周知していく
3	・野外活動(社会見学・遠足など)等、児童が出掛ける機会	・個人情報の取り扱いなどから、事業所の名札を付けての外出は、難しい ・特性状、音や人混みがあがてな児童もいるので外出が難しい	・地域の公園でのお花見や、敷地内での水遊びなどを行い外での活動や、季節を感じられる支援を取り入れていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	4×4 = 16 & Co.
------	----------------

公表日 2026 年 2月 15日
 利用児童数 1人
 2026 年 1月 16日

回収数
1

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1				1		
	2	1					
	3				1		室内はバリアフリーです トイレも広くなっております
	4				1		
適切な支援の提供	5	1					
	6	1					
	7	1					
	8	1					ガイドラインを元に、個々に合った支援内容の設定を行っております
	9	1					
	10	1					
	11				1		個人情報の観点から行っておりません
保護者への説明等	12	1					
	13	1					モニタリングや面接時に計画について、より丁寧な説明をしていくことで、支援内容の理解して頂けるようにしたい
	14				1		ペアトレーニングとして系統立てて計画実施しておりません 個々に合わせて助言を行っています
	15	1					
	16	1					
	17	1					
	18				1		感染予防・個人情報の観点から行っておりませんが、いろいろなお意見を聞かせて頂いて検討してまいります
19				1		その都度、迅速に対応して参ります	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					LINE・連絡帳・面談・電話でのやり取りが中心に、送迎時にも連絡事項や様子を伝えております
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。				1		イベントやお知らせは、LINE・手紙等で知らせし、自己評価はホームページに掲載しております
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1					個人情報が記載されている書類は、鍵付きの書庫に保管しております
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1					事業所内・外の研修等を定期的に行っている
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				1		避難訓練を定期的に行っております
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1					ありがとうございます 第二の家とさせていただけるよう頑張っております
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1					ありがとうございます 更に楽しんでいただけるよう頑張っております
	29	事業所の支援に満足していますか。	1					ありがとうございます 更に満足していただけるよう頑張っております

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		4×4=16 & Co.		公表日 2026年 2月 15日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2		子どもの目線に合わせて、使うものや玩具を置いている。 年齢や体の大きさに合わせた机と椅子	出席している子どもの特性上、出せない玩具などがあり他の子も使えなくなる時期がある
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2		毎日の清掃 絨毯を敷いて、クッション性を持たせている 手拭きタオル置きを設置	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2		クローゼット式の扉で仕切りができる	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2		日頃の療育を振り返り、改善に向けて情報改善に向けて情報を共有し合う場を設けている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		ミーティングや、月末の個別面談での意見を業務に取り入れている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2		事業所内・外の研修を共に行っている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2		5領域の観点で作成している	ホームページに掲載
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	2		モニタリングで丁寧にアセスメントを取っている初回や気になる事がある時は早めに行っている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		ケース会議にて話し合っ決めている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		ケース会議と毎日のミーティングで共有している	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2		発達検査を提出してもらい、日々のアセスメントと併用して計画を作成している	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2		毎日のミーティングとケース会議で行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2		毎日のミーティングで振り返りながら作成している	イベント時に、休みが増えると予定を変更しないといけなくなる事がある

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	2		個々に合わせた個別活動と、異年齢でも参加できる集団活動を取り入れている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2		毎日のミーティングで話し合っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2		翌日の朝のミーティングで行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2		個人の支援記録を毎日記録している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		6ヶ月以内に1回モニタリングを行い、計画を見直している 成長に応じて時期を早めて行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		保育園・幼稚園とは連携している	利用児が通っていない機関との連携が難しい
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2			出来ている部分と、そうでない部分がある。 学校側とこちらの時間のすり合わせも難しい
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		幼稚園や保育園に伝えて、小学校に伝えてもらっている	出来るだけ連携を取れるように努めていきたい
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2		個人情報の観点から行っていない	公園などでは、地域の子どもとの交流に努めている
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2		連絡帳やLINE、送迎時での報告などで行っている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	1			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2		契約時に説明を行っている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2		モニタリングでアセスメントを取り、計画書を見せて説明し、同意のサインをもらっている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	2			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2		家族支援は積極的に行っている	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		2		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2		LINEで日頃の連絡やお知らせを伝え、活動の写真を定期的に送っている	読まれていない方もいる
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2		相手の特性に合わせた伝え方に努めている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2			環境の変化に弱い子が多いので外部の参加が難しい
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2		事業所外・内研修を行っている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	2		アセスメントを取る時に聞いている	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2		アセスメントを取る時に聞いている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2		安全研修を受け、事業所内研修もっている	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2		災害時を含めた緊急時の連絡先を伝え合っている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2		定期的に振り返り、話し合っている	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2		虐待研修に参加し、虐待防止委員会を年に2回開催している		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2		対象児がない		